



〈鶴ヶ島市立藤中学校だより 第5号〉

学校教育目標

ともに学び、未来を拓くたくましい生徒の育成

藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和8年7月17日 校長 竹田 聡

<1学期の終わりを迎え>

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。お陰様で、藤中体育祭、入間北部学校総合体育大会も滞りなく終えることができました。ご支援に感謝申し上げます。

夏休みは、お子さんの自立心を育むよい機会です。これまでの夏休みを踏まえて、その子に合った支援をお願いします。

<1学期終業式 代表のことば>

1学年代表

入学して約3ヶ月が経過しました。入学当初私は、中学校生活に対して不安や心配な思いでいましたが、学級委員に立候補し、学級のリーダーとして生活していく中で、今では「学級のために動いて貢献していきたい」という強い思いがあります。私は「1学期に頑張ったことと課題」、また「2学期に挑戦したいこと」という2つの観点で振り返りました。

まず私が「1学期に頑張ったこと」は2つあります。

1つ目は「周りを見て行動する」ということです。クラスは7つの集団です。集団に属するそれぞれの生徒が、周りを見て行動するのは、様々な場面で重要になります。なぜなら、例えば具体的な場面を挙げると、班での話し合い活動をしているとき、いつまでも私語を続けてしまう人がいると、話し合いが成立せず周りに迷惑をかけてしまっています。また、給食の準備中に廊下に出て、話をしていることが原因で、クラス全体の「いただきます」が遅れてしまいます。つまり、周りを見て行動することは、集団で行動する上で欠かせないスキルだということです。

2つ目は「時間を意識して行動する」ということです。時間は学校生活の中でのほとんどのことに関わっています。例えば授業の開始、給食、掃除、朝の会や帰りの会などの時間を全員がきちんと守ることができれば、自分のために自由に使える時間がおのずと増えるというメリットがあります。つまり、時間を意識して行動することも、学校生活の全てにおいて必要な能力だということです。

また、頑張ったことがある反面、「課題」もあります。それは、「声がけが足りないこと」です。学級委員として、自分が気付いたことを声がけすることは、非常に大切な行動だと考えます。なぜなら、気付いた人が声をかけることができれば、周りの人も「今すべきこと」に気付き、行動することができるからです。また、声をかけることができれば、「今すべきこと」に気付けない人も、少しずつ「気付く力」を養い、自分から動けるようになって考えるからです。私は1学期に「周囲に意識を向けること」や「時間を意識して行動すること」ができるようになったので、それを「声がけ」で伝えていくことで、また一歩、成長したリーダーになりたいです。以上の「頑張ったこと」や「課題」を振り返り、私が学級委員とし

て「2学期挑戦したいこと」があります。

それは「生徒一人ひとりが自分で考える機会をつくること」です。そのための手段として、私は1学期の課題であった「声がけ」を積極的にします。1年生の学年目標は「ありがとうが素直に言える学年」です。「ありがとう」を素直に伝えるためにはまず、感謝できることに「気付く力」が必要です。何事においても、全員が「気付く力」を養っていくために、声をかけていきたいです。また、私のクラスの学級目標の中に「考動」という言葉があります。「考えて動く」と書いて、「考動」です。つまり、最終的には全員が「自分で考えて行動することができる集団」になることを目標としています。だからこそ、私は学級委員として、学年の全員が「言われればできる生徒」で終わるのではなく、「言われずにできる生徒」になれるように、これから先も学年を引っ張っていきたいと思います。

2学年代表

新学期が始まってから今日まであつという間の1学期でした。4月に新しいクラスになり、少しの緊張と大きな期待を胸にスタートした日から、もう3か月が経ちました。自分自身の1学期を振り返って、良かった点と課題点について話したいと思います。

良かった点の1つ目は、初めての学級委員で戸惑うこともありましたが、自分から声がけしたり、みんなの役に立つことに取り組めたことです。体育祭では全学年がいる中でも、より良い行動のために、率先して声がけすることができました。学年のみんな意識し合い、その場に合った動きができて、学年みんなの素晴らしさを感じることもできました。一方、私自身の反省として、授業中に油断しておしゃべりをしてしまったり、行動のメリハリが崩れてしまったりすることがありました。学級委員として、自分が良い手本となり、2学期は声がけとともにクラスや学年全体を行動で良い方向に引っ張っていけるようにしていきたいです。

良かった点の2つ目は、部活動です。「先輩としての自覚を持ち、1年生のお手本となる行動を常に意識できたこと」です。これまでは先輩たちの後をついていだけでしたが、4月からは新しく入ってきた後輩たちを引っ張る立場になりました。最初は接し方に不安もありましたが、後輩が早く馴染めるよう積極的に声をかけ、親しみやすい雰囲気を作

ることを心がけました。また、アドバイスをするときも、相手の立場になって分かりやすい言葉で伝えるよう工夫しました。

後輩たちの成長を間近で支えることで、自分自身の基礎を見直すきっかけにもなり、部活に対する責任感が去年より増えたと感じました。次の大きな大会は新人戦です。この新人戦までの約2か月を大事にして部員全員で協力できる部活動にしたいと思いました。

課題点は勉強面です。それは、日々の忙しさを言い訳にして学習を後回しにしてしまい、テストで思うような結果が出せなかったことです。1学期、委員会や部活動の予定が重なるにつれて、家庭学習の時間が十分に確保できなくなっていきました。「疲れているから明日やろう」と妥協してしまい、授業の内容が難しくなっているのにもかかわらず、十分なテスト対策ができませんでした。この反省を生かし、2学期は見通しをもって計画性を大事にしていきたいです。

明日からは、待ちに待った夏休みが始まります。2年生の夏休みは、部活動でもいよいよ私たちの代が中心となる新チームが本格的に始動します。しかし、私にとってこの夏休みは、1学期のテストの悔しさをバネに、勉強の遅れを取り戻して、基礎を徹底的に固め直す、リベンジの期間でもあります。時間を有効に使いながら、ひと回りたくましくリーダーへと成長したいです。

2年生のみなさんも、1学期の成果と課題の両方があると思います。2学期に向けて、できるようになったことの質を高め、課題点を改善できるための夏休みとなるよう意識して、最高の2学期にしていきたいです。

3 学年代表

僕には1学期を振り返って、2学期につなげたいことが3つあります。

1つ目は、勉強です。中間テスト、期末テストではスマホの誘惑に負け、勉強時間が少なかったのも、あまり良い結果を得ることができませんでした。僕は受験生としての意識を持ち、1日2時間は勉強したいです。

2つ目は、行事です。僕は団長として、全員が楽しめるよう、また、一生の思い出に残るように桃団を引っ張ってきました。しかし、体育祭の練習中にけがを負い、本番には参加することができませんでした。練習の時からとても助けてもらいましたが、怪我をしたときに「俺らに任せろ」「勝つから見といて」などの励ましの声がたくさんあり、仲間やクラスの大切さを感じました。そのためクラスへの恩返しとして、合唱祭では人一倍声を出して頑張りたいです。

3つ目は、部活動です。僕は陸上競技部に所属しています。ですが1学期にけがをしてしまい、思うような結果が出ませんでした。目の前の県大会などが全て消え、今度の県大会も絶望的と言われました。しかし、同じ部活の仲間これ以上ないほどのサポートをしてもらえたから、今の自

分があると思います。僕は、沢山の人の支えてもらったので、2日後の県大会では、その人たちのためにも良い結果を残したいです。

そして2学期には駅伝があります。去年は全国大会に出ることができませんでした。なので、負けた日からはオフを大事にしてトレーニングの数や、きついところでも「プラスワンっ!」と思い、頑張ってきました。更に学校における生活では大変な仕事も率先してやろうと心がけ、ゴミ拾い、先生の手伝いなどを行ってきました。今年は、全国大会への切符を手にし、藤中学校を背負って走りたいと思います。応援よろしくお願いします!

明日から夏休みが始まります。3年生にとって、これから本格的に受験シーズンが始まっていきます。日頃から時間を有効的に使い、よりよい一日を送っていきましょう。

<校長の言葉(抄)>

1学期は、予定された行事を含めた教育活動が無事に終わられることができ、安堵しています。

1学期の終わりにあたり、入学式・始業式で私が話したことを確認します。

3年生には「藤中の手本」を話しました。委員会や部活動、体育祭でたくさんの「手本」を示してくれたことに、感謝しています。これから進路が本格的になりますが、卒業するまで「藤中の手本」を期待しています。

2年生には「先輩らしく」と話しました。これから藤中のリーダーの襟が2年生に引き継がれますので、信頼される先輩となれるように、先輩ぶらず、先輩らしい行動をお願いします。

1年生には、「大人のつもりで行動すること」、「言葉を大切にすること」、「時間を大切に生活すること」の3つを話しました。これらは、中学校生活を通して大切なことです。自然にできることを目指してください。

今日、1学期の通知表が渡されます。5段階の数値よりも、観点別学習状況を見て、授業で示された課題を解決できたか確認することです。特に、「基礎的・基本的な知識及び技能」が身に付いていないと思う教科は、夏休み中に改善できるようにしましょう。成績に疑問があったら、自分で先生に確認をしましょう。

明日から40日間の夏休みが始まります。「時は金なり」と言います。お金と時間の違いは、価値の変化を考えなければ、使わない限りお金は減りませんが、時間は減ります。何もしなければ「浪費」になり、目的をもって使えば「投資」になります。目的意識をもち、考えて過ごすことが大切です。苦手なこと、嫌いなことほどできるように工夫しましょう。

それでは、健康で安全に生活をして、充実した夏休みを過ごすこと、特に、交通事故、ネットトラブルにあわないようにして、2学期を迎えることを願っています。

<生徒の活躍> ソフトボール部(坂戸若宮中・桜中と合同) 県大会出場
埼玉県硬筆中央展覧会 特選賞 2名 優良賞 1名

— お 願 い —

- 部活動の欠席の連絡はC4th、その他の連絡は平日の8:20~16:50は藤中学校(049-286-9546)、それ以外の時間帯及び休日、閉庁日の緊急連絡は、鶴ヶ島市役所(049-271-1111)へお願いします。
- 不審者に関する情報は、110番または、西入間警察署(049-284-0110)へ通報してください。
- 自転車事故、ネット関連のトラブルについて、ご家庭でも注意をお願いします。